



多大な功績が認められ 栄えある叙勲・表彰

昨年9月1日に秋の叙勲が通達され、落合銃祐さんが瑞宝双光章を受けました
11月3日には、下村源一さんとウミガメ保護監視員が県知事表彰を受けました



瑞宝双光章（教育功勞）

学校教育の理想像を追求した落合銃祐さん（東町）

おち あい せん すけ

落合銃祐さんは、昭和18年に志太郡伊久美村身成国民学校に奉職し、昭和59年、浜岡東小学校長を退任するまでの40年間、確かな教育理論と幅広い教育的識見を持って、児童生徒の教育向上に努めました。誠実さと実直で真面目な性格は、常に円満な教育環境を創り出し、多くの人から慕われました。

教職員の指導に当たっては、明解な判断と指示を示し、教職員一人一人の特性を確実に把握した上で、適切な助言を与え、後進の育成にも力を注ぎました。

落合さんは「叙勲を受けることができたのも、関係者や家族が支えてくれたおかげ。今後は、少しでも世の中に恩返しをしたい」と穏やかな表情で話しました。

県知事表彰（地方自治功勞）

港湾整備と観光振興に尽力した下村源一さん（下岬区）

しもむらげんいち

下村源一さんは、昭和22年御前崎村に奉職し55年間、豊富な行政経験と卓抜なる識見をもって地方自治の発展に貢献しました。昭和58年から4年間は、御前崎町助役として、その後、平成3年からは第5代御前崎町長として2期8年にわたり町政の発展に努力され、町の飛躍的な発展に寄与した功績は、非常に大きなものがありました。助役在任中には、御前崎港の整備を積極的に関係機関へ働きかけ、西埠頭1・2号岸壁を完成させました。町長就任後も港の利用拡大に貢献し、現在の多目的国際ターミナル供用への道筋を立てました。

下村さんは「今は行政も大変な時代。私も体力が続く限り市政のバックアップをしたい」と力強く話しました。



県知事表彰（環境保全功勞）

長年の活動が認められた市ウミガメ保護監視員会



今回の表彰は、アカウミガメの保護活動に対する功績が高く評価されたものです。

ウミガメの保護活動は、旧御前崎町がウミガメ保護監視員を委嘱した昭和47年から本格的に始まりました。現在では、市ウミガメ保護監視員が上陸頭数、産卵頭数などを毎年記録するほか、上陸期間中の毎朝の海岸巡視、夜間パトロール、海岸清掃や堆砂垣の設置など、年間を通じて活動しています。また、産卵観察会や放流観察会を実施するとともに、御前崎小学校のウミガメ飼育活動を30年余りにわたって指導し、命の大切さや自然の厳しさを教えています。

会員は「受賞は、先輩たちの地道な活動のおかげ。これからも力を合わせ頑張りたい」と話しています。